

八王子市立第二小学校
令和6年度 学校経営報告書
(6年目) 校長 ●● ●●

目指す学校像 1

一人一人の児童を大切に作る学校

➡児童にとり、楽しく、魅力のある学校

目指す学校像 2

学び合い・高め合うことができる学校

➡児童にとり「できる喜び」「分かる楽しさ」を
味わえる学校

➡教職員にとり、明るく、働き甲斐のある学校

目指す学校像 3

保護者・地域を大切に作る学校

➡保護者、地域に開かれた学校
ほこりがもてる学校・信頼される学校

目指す学校像 4

組織体としての機能を充実する学校

➡教職員の協同体制、組織体としての機能が活
性化し充実している学校

学校の教育目標(目指す子供像)

- ① 「思いやりがあり やりぬく子」の育成を教育活動の重点目標とし、児童同士、教師と児童等、様々
な豊かな関わりの中で望ましい人間関係を築くことができるよう学習指導や生活指導、人権教育を充実
させる。人権尊重の精神の下、体験学習を多く取り入れた授業や資料・教材を活用し指導の工夫を図
り、思いやりの心を持ち、互いに励まし合い、助け合い、高め合える子を育成する。
- ② 「できる喜び」「分かる楽しさ」を味わわせる授業を構築する。児童の興味や関心に応じた学ぶ喜びを
味わわせることのできる授業を工夫・改善する。生涯学習やキャリア教育の視点から、基礎的・基本
的な知識・技能の確実な習得を図ると共に習得したことを活用し、思考力・判断力・表現力を育成する。
また言語活動を重視した学習過程、個に応じた指導を取り入れ言語力の向上を図る。
- ③ 心と体の健康づくりを基本とし、体力の向上や心身の健康の保持増進に努めると共に自己の課題を粘
り強く追及するたくましい精神力を培う。

よく学び 考える子(知) 思いやりがあり やりぬく子(徳) 明るく 元気な子(体)
(重点目標)

＜学校経営の基本理念＞

“豊かな人間同士のふれあいを基盤に、この学校で学ぶことを通して、この先生に出会えて良かったと、子供
からも保護者からも思われる学校でありたい”。
児童にとり小学校時代における教師との出会いは生涯に関係する大きな事柄である。児童、保護者、教職員
を含めた人間同士の触れ合いを大切にする学校づくりを推進していく。
児童は「地域の宝」「日本の宝」である。教職員一人一人が自己啓発・自己研鑽に努めると共に、互いの力
を磨き合い、学校が一体となって児童のために充実した教育活動を展開していく。

経営目標：重点目標と方策

●評価：1年間の教育活動を振り返り年度末に自己評価します。

学校教育目標「よく学び 考える子」の実現

B

目標2 児童一人一人の課題の明確化・改善(各種学力調査の分析)

目標 ➡「書く力」:国語タイムの活用。作文指導、一言日記指導、授業後の感
想等、様々な機会(専科授業等)を通じて「書く力」を育成。
「聞く力」:全校朝会(学校長講話)終了後、「今日の話」を振り返り、文
章化(学校長添削後、校長室前掲示)。全学年・学級で実施。

目標5 第二小学校スタンダード充実・「授業理解」肯定的評価(目標 85%超)

目標 ➡「授業が分かる」肯定的評価:4～6年生 ➡94%(目標:85%以上)
「分かりやすい授業」肯定的評価:保護者 ➡97.5%(目標:85%以上)
「適正な評価」肯定的評価:保護者(91%)、児童(96.1%) ➡目標達成

目標6 達成感・満足感・成就感の獲得(校長室検定・都道府県・県庁所在地・九九)

「目標に向けて努力する」「自分自身へチャレンジする」。目標の明確化。

➡漢字検定の活用(学校運営協議会委員協力)

受検率:R2:47% R3:45% R4:43% R5:43% R6:42%

合格率:R2:91% R3:88% R4:86% R5:87% R6:84%

➡児童の漢
字習得の定
着に有効。

学校教育目標「思いやりがあり やりぬく子」の実現

B

目標1・10 豊かな関わりの中における望ましい人間関係

目標 ➡異年齢交流の推進(友だち班活動)。互いに「認め合い」「高め合い」「結
び合う」望ましい人間関係づくりを通じて、高学年児童には自己有用感
('頼りにされている)、低中学年児童には高学年児童への「あこがれ」の
気持ちが芽生える。本校の伝統を充実・発展。

目標3・4・8・9 道徳授業の充実 学校・家庭・地域に関わる児童の健全育成

目標 ➡道徳授業地区公開講座(全学級授業公開)。スクールカウンセラー
の4年生以上児童全員面接。「いじめ」未然防止・早期発見・迅速
対応。相談できる大人(3人以上)。児童アンケート(年3回)。

目標5 副籍交流・交流学習の積極的推進

目標 ➡「地域で共に生きる仲間」。各種感染症等拡大防止に配慮しながら実施
予定。間接交流(学校だより配付・お手紙交流等)、活動内容工夫。交流
を通して互いに支え合い生きることの大切さ。地域の交流広がり。地域
の仲間として交流継続。令和6年度:直接・間接交流なし(希望なし)。

目標 ➡特別支援学級と通常の学級との日常的な交流及び共同学習の充実。

●令和6年度八王子市学校保健努力校受賞(4年連続)

学校教育目標「明るく 元気な子」の実現

A

目標2 小中一貫「学習・生活スタンダード」の活用・あいさつの励行(目標 85%超)

目標 ➡保護者:R6平均 86% 肯定的評価(目標 85%超) ➡目標達成
児 童:R6平均 91.1% 肯定的評価(目標 85%超) ➡目標達成

目標1・4 「外で元気に遊ぶ」肯定的評価(二小レガシー・異年齢交流)

目標 ➡「一校一取組運動」短縄・長縄跳び月間、マラソントイム等取組。二小
レガシー(運動会:聖火リレー)・「二小タイム」取組、体をきたえる活動充実。
➡体力調査:R6…96 測定項目中、58 項目で都平均超(R5 比+3項目)。
➡握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、20mシャトルラン、ソフト
ボール投げ:半分以上の学年で都平均超。短距離走(50m走)と立ち幅跳
び瞬発力(立ち幅跳び)それらにかかわる体の使い方に課題。「二小タイ
ム」「体育授業における取組」充実。

目標3 食育・健康安全教育の推進、健康でたくましい心身の児童育成

➡栄養士による食事マナー、食器の取扱等を全学級説明(毎日見回り)。
地場野菜・地方食材使用等は放送・学校だよりにて広く周知。
➡アレルギー対応事故防止の徹底。教職員研修の充実。

今年度の取組目標と方策(目指す学校像) 1・2

A

目標1 一人一人の児童を大切に作る学校(目標 85%超)

【「適正評価・授業評価」肯定的評価】 【「落ち着いて学習できる」肯定的評価】

目標 ➡保護者:適正評価:91.0% 5～6年生:94.2% ➡目標達成

保護者:授業評価:89.5% 4～6年生:97.8% ➡目標達成

目標2 学び合い・高め合うことができる学校

授業評価

目標 ➡ちょこっとOJT(教員相互の授業参観)。互いの授業を見合い「良い点」
を自分の授業に取り入れる等、授業力向上・指導力向上システム。
(一人2回以上)。情報教育担当によるパソコン研修(スキルアップ)。

➡副担任制・教科担任制の試行・検証(5年生～6年生)。複数教員が児
童とかかわり児童の新たな一面発見。積極的な児童理解の推進。

➡校長室だより 100 号以上発行。最新の教育事情を迅速に紹介。

今年度の取組目標と方策(目指す学校像) 3・4

A

目標3 保護者・地域を大切に作る学校

目標 ➡教育ボランティア(英語活動・お琴指導・九九検定・キャリア教育等)、安
全ボランティア等、地域人材・外部人材との積極的連携推進。地域人
材・外部人材等との連携実施。

目標 ➡HP毎日更新。学校だより、学級通信等各種たより積極的情報発信。

目標4 組織体としての機能を充実する学校

目標 ➡学校評価年2回実施(地域にも依頼)。各種学校行事アンケート
(評価結果・分析報告)。自由記述は全て公開(HP)。

目標 ➡「担当・主任・委員長・主任教諭・主幹教諭・副校長・校長」(決済)。

目標 ➡生活指導部、いじめ対策委員会、校内支援委員会、SC、SSW、医療・
関係諸機関等連携。組織的対応の充実・工夫、課題解決。

A

学び合い・高め合う(八王子市教育委員会研究指定校「確かな学力と豊かな人間性を基盤として、自ら考え行動できる児童・生徒育成 ～義務教育9年間の系統的・継続的な教育課程の充実を通して～」)

A

目標 ➡ユニバーサルデザイン(焦点化・視覚化・共有化)の授業構築。令和2年度「アクティブ・ラーニング推進校(研究指定校)」としての研究成果生かす。

目標 ➡研究指定校(「義務教育9年間の系統的・継続的な教育課程の充実 ～義務教育9年間の系統的・継続的な教育課程の充実を通して～」)の取組。

講師:東京大学大学院教授。小中教員共同研究授業準備、研究授業(年4回)。研究報告会実施(令和7年2月5日)。たがの杜小中学校円滑な開校。

目標 ➡校内研究(ICTを活用した授業実践)。第1学年から英語活動(大学生ボランティア)、1年生から6年生の系統的外国語教育構築。日常的英語活動充実。

◎学級数:14 学級 ◎児童数:327 人

(含特別支援学級:3 学級) (家庭数:268 人)

◎特別支援教室拠点校

〔経営計画6年目の重点〕

◎居心地のよい・安心できる場所のある学校づくり。

◎基礎的・基本的学力の向上と習熟。

◎「いじめを絶対に許さない」組織的対応によるいじ
め防止対策の取組(未然防止・早期発見・迅速対
応)。教職員相互の情報提供・情報共有。

◎教育活動の積極的な公開と情報公開による「地域に
開かれた学校づくり」。

◎教員の授業力向上(研究授業・ちょこっとOJT)。

◎特色ある教育活動(異学年交流、低学年からの英語
活動、保幼小連携、副籍交流、地域行事参加)。

◎コミュニティ・スクールの推進・充実・発展。

◎副担任制・教科担任制の試行・検証。

◎義務教育学校開校に向けた準備(研究指定校)

小中一貫教育推進(第二小学校・第四中学校の連携
強化)。小中合同研究授業の準備・実施。

◎小中教員による9年間を見越した学力向上。

◎たがの杜小中学校開校(令和7年度)に向けた小中合
同行事の検討(遠隔地にある学校)、取組工夫。